

# 平成30年度 長寿の里 事業報告

自平成30年4月 1日  
至平成31年3月31日

# 平成30年度 鎌ヶ谷翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

新たな時代の「医療」・「介護」・「教育」モデルを確立しよう

## 施設年度目標

- ・人財確保
- ・介護ロボットの導入・介護事務のIT化による介護職員への業務軽減を図り、離職率を軽減
- ・地域への地域貢献活動

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 94.3% (従来) (定員64名→平成30年12月より90名) 97.6% (ユニット)  
 ・前年度比で従来型は稼働率がほぼ横ばい、ユニット型は97.6%で目標達成となりました。状態の変化に対する早期対応・早期受診・入院を多職種連携で対応した結果、年間600日弱の入院日数減に繋げる事が出来ました。看取りケアについても協力医療機関との連携や家族依頼などを密に行った結果、お看取りした方が〇名いらっしゃいました。月に4～5名分の空床を次年度は3名以下に引き下げられるように医療との連携を強化しつつ、健康管理に努めます。  
 ・満足度向上に向けて、ユニット型などではお客様に手伝って頂き昼食を作ったり、おやつを作ったりしました。秋刀魚を焼いたり、パン作り、串揚げ作りなどの料理を作り、自ら作った料理を皆で味わう楽しみや、料理を通して旬や季節を感じて頂きました。調理器具の使い方などは体が覚えていて、体操などのレクリエーションとは違い、誰かの為に何かをしたという満足感や達成感を感じて頂くことができました。

【短期入所】 年間平均稼働率 84.4% (定員26名→平成30年2月より30名)  
 ・平成30年2月よりショートステイ専門棟別館がオープンし、定員26名から4名増床し、30名でスタートいたしました。別館への移行に際して、ベッドコントロールが難しい面もあり稼働率は84.4%での着地となりました。インカムやスマホを活用し、建物も業務も一新した新しい介護の形を作るべく取り組んでおります。併設している園庭で散歩をしたりバーベキューをしたり、ホテルに泊まりに来た感覚でご利用いただけるショートステイの実現に向けて来期も取り組みます。

【通所・鎌ヶ谷】 年間平均稼働率 96.5% (定員35名)  
 ・前年度稼働率から改善し、目標を上回る96.5%での着地となりました。平成30年度から新たに取得した認知症加算を営業時に「在宅生活応援プロジェクト」と銘打って、今まで関りが無い、もしくは浅かった居宅介護支援事業所を中心に外回りをいたしました。繰り返しの訪問が功を奏して、実人数の増加、稼働率の安定に繋げる事が出来ました。  
 ・認知症加算対象者の受け入れを進めましたが、介護度が大幅に上がる事無く推移させることが出来たため、人員を従来通りの体制のまま、機能訓練、認知症利用者対応を行うことが出来ました。従来の選択制レクを中心に、活動だけではなく受け入れの幅を広げたことで、より多くのお客様にご利用いただけるサービスを提供する事が出来ました。

【通所・つかだ】 年間平均稼働率 87.2% (定員13名)  
 ・平成30年度新規獲得者と終了者同人数でしたが、ほぼ空き曜日はなくお客様の長期的な利用ができていた結果であり稼働率目標若干ではありますが達成することができました。入院者、ショートステイ利用者は年々増加しており平成31年度は、キャンセルを見越した新規獲得を実施し更なる稼働率の安定に努めます。また、新規加算も取得し収入の安定を図ります。  
 ・自立支援に向け、新たなプログラム活動の実施とともに、船橋エリアとして始動が始まり今後更なるサービスの質の向上と包括的なサービスの実施ができるよう連携を強化し活動して参ります。

【居宅】  
 ・施設入所や入院などで解約件数が多くありましたが、同時に新規依頼も多く、稼働率を維持する事が出来ました。しかし年度の後半で入院者の増加等から稼働率は大きく低下してしまい、目標の達成には至りませんでした。  
 ・各専門職と連携を図りながら、ご利用者に対して迅速に対応して個々に合ったケアプラン作りに努めました。

【全体総括】  
 特養の増床、ショートステイの別館移行がお客様に対しても運営に対しても、大きな影響なく取り組む事が出来ました。ショートステイ以外の事業で全て前年比増の稼働率となり、各セクションにおける役割を職員がしっかりとこなしてきた結果が出た年度となりました。しかしながら、これで満足せず、全事業所での記録のICT化やお客様の満足度向上に向けた創造を活発に行うために、職員教育や研修・勉強会を通し、職員の意識向上とベースアップをいたします。  
 また、ショートステイ棟別館に併設した事業所内保育所「鎌ヶ谷エンジェルス」も稼働しており、より働きやすい職場環境となりました。人材確保に大いに活用しつつ、子育て世代やシニア世代が輝ける職場づくりを行います。  
 在宅部門としては、デイサービスの営業が効果的に取り組めた事を受け、ショートステイ、特養も相互協力しながら積極的に施設情報を広報し、居宅のみならず地域の方々にも広く認知して頂けるように来期も活動いたします。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H29 実績	92.0	92.5	94.2	95.4	97.3	93.9	94.1	93.9	94.2	94.3	94.4	96.4	94.4
	H30 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H30 実績	96.2	95.1	98.2	98.8	96.6	93.7	97.8	95.1	106.0	95.6	94.9	95.6	97.0
短期	H29 実績	105.4	100.9	99.6	100.0	98.5	99.6	95.9	105.6	98.5	101.2	103.7	102.2	100.9
	H30 目標	108.0	109.0	110.0	110.0	110.0	110.0	107.0	107.0	107.0	106.0	106.0	106.0	108.0
	H30 実績	95.1	97.4	99.7	97.5	97.3	95.0	91.7	89.5	59.6	36.5	69.3	86.0	84.5
通所(鎌)	H29 実績	91.1	89.8	91.2	92.9	93.9	92.2	97.0	94.3	91.8	83.3	88.7	88.8	91.2
	H30 目標	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
	H30 実績	89.7	87.2	89.8	98.2	98.8	101.9	98.8	103.7	101.8	99.9	99.5	86.0	96.3
通所(つか)	H29 実績	84.0	88.3	87.6	90.8	89.5	89.1	89.4	93.5	91.7	85.2	86.9	90.9	88.9
	H30 目標	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	H30 実績	93.2	92.9	82.3	88.2	86.9	84.9	87.5	86.1	84.0	78.8	84.9	96.4	87.2
居宅(件数)	H29 実績	80.0	78.0	73.0	77.0	79.0	79.0	77.0	74.0	74.0	73.0	75.0	78.0	76.4
	H30 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H30 実績	78.0	78.0	80.0	83.0	81.0	79.0	77.0	77.0	72.0	74.0	72.0	71.0	76.8

# 平成30年度 行徳翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

### 時代の先駆者になろう！

様々なニーズを収集し、求められる介護サービスを最高の形で提供しよう。  
新たな事にチャレンジして、先駆的に取り組んでいこう。

## 施設年度目標

- ①入居年間ベット稼働99% 通所年間稼働率93%
- ②IT機能をフル活用し、新たな事に先駆的に取り組み個別ケアの充実に繋げる。
- ③人材確保と職員のスキルアップを図る。

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

### 【軽費老人ホーム】

#### ①年間ベット稼働率

年間ベット稼働率96.3%(目標99%・対目標-2.7%・前年度比-1.1%)

持病による入院も例年に比べ多かったが、骨折による入院が6件あり、入院者数が555名と前年度を更に上回ってしまった。入退居については、毎月1~2名ずつ、年間合計各13件あり、空床時のご入居についてはお客様を比較的早期に決定する事ができていたものの、入居日の調整がうまく図れず、入退居による空床日数は平均6.8日も掛かってしまった。また、昨年度2名から今年度6名へ要支援のお客様が増えた事により、介護収入も減となってしまった。自費サービスの活用により空床期間の短縮化と、お客様の介護度・介護サービスの見直しと、入居時のベットコントロールを実施していく。

#### ②自費サービスの活用

H30年度8月より本格始動となり、H30年度中は21件64泊の利用があり、実際に入居へ繋がったケースもあった。

引き続き、入居検討者されている待機のお客様に自費サービスを利用して頂くことで、入退居時に空床日数を抑え、お客様ご本人やご家族様に、体験する事で安心した気持ちで入居して頂けるようにする。

### 【介護課】

#### ①ICTの導入

今年度、インカムを導入した事で、始めは機能を十分に活用できていなかったが、日々の送りや情報交換ツールとして使用していく事で、現在は情報伝達がスムーズに行えるようになった。また、Ipadでの記録を各番街でおこなう事でタイムリーな情報を記録する事ができている。

#### ③個別ケア・余暇活動・行事の充実

充実した個別ケアを提供する為に居室担当者を配置したが、機能が不十分であった為、来年度に向けて居室担当者の役割をスタッフ会議で職員間で話し合い、居室担当を再構成した。余暇活動では音読クラブの曜日と時間を固定した事で参加者が増加した。新しく企画したディナー誕生会はとても好評で、来年度も今年度にプラスした形で継続して実施していく。

### 【通所】

#### ①年間稼働率

年間稼働率96.0%(目標93.0%、対目標+3.0%、前年度比+4.4%)

地域で受け入れの少ない軽介護者受け入れアピールをした営業活動を行った事で、地域居宅との信頼関係が深くなり軽介護者だけでなくコンスタントに紹介をいただけている。また、実際にご利用されているお客様のロコミ等により新規の紹介が増加した。結果、1日33名の利用お客様数目標を達成し、前年度比+3.0%の稼働率向上に繋る事ができた。登録お客様数が100名台となり、全曜日の登録も定員を満たした事で条件付きの登録者を確保でき、当日休み等にも稼働を上げる事無く、安定した稼働を保つ事ができた。今後も居宅やご家族様・お客様との良好な関係構築を図り、当日休みや解約者が出た際にも、スムーズに新規のお客様獲得に繋げ、安定した稼働を維持していく。

### 【介護課】

#### ①個別ケア・余暇活動・行事の充実

個別ニーズ把握の為に、アンケートを実施。結果を基に、選択レクリエーションを実施する事ができ、好評を得る事ができた。お客様自身で選択し、職員と一緒に企画を進める事でお客様が役割を持つ事で遣り甲斐に繋る事が出来た。また、ふれあい施設の活用で多世代との合同行事やレクリエーションで交流し、生活の中での刺激となっている。

### 【総括】

有資格者の確保では、第一種衛生管理者1名の合格者と防火管理者資格1名取得。国家資格の介護福祉士は今年度受験対象者が居なかった。介護支援専門員試験では合格者がおらず合格目標の50%を達成する事ができなかった。

地域へ向けた納涼祭や翔裕園の日では、地域の方に浸透されてきている為、年々参加者も増加している。

納涼祭：500名・翔裕園の日：200名以上の地域の方々の方々の参加者となった。

離職率は前年度24.0%より今年度18.1%と5.9%の低減ができたが、離職者に対しての補充ができず派遣職員で補てんしている状態であるが、3名の派遣職員から直接雇用へ切り替える事ができた。

インカムを導入した事により、情報共有がスムーズになっているが今後もICT導入を積極的に行うことで、サービスの質の向上と、業務改善し効率化する事で残業減と人材不足対策を行っていく。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
軽費	H29 実績	96.8	96.6	98.3	96.6	97.7	96.6	96.3	96.7	99.6	98.9	98.4	96.1	97.4
	H30 目標	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0
	H30 実績	93.7	95.6	96.2	94.5	95.1	97.3	99.4	97.8	95.4	94.9	99.3	96.8	96.3
通所	H29 実績	89.1	86.7	95.7	98.4	93.2	95.0	98.0	90.0	92.0	85.0	91.0	85.0	91.6
	H30 目標	92.0	93.0	95.0	95.0	91.0	95.0	95.0	92.0	92.0	90.0	93.0	93.0	93.0
	H30 実績	89.5	89.1	91.8	95.4	92.0	99.8	99.8	99.3	98.1	99.2	98.7	99.8	96.0

# 平成30年度 いちかわ翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

変化を恐れず、強靱な組織体制を構築し、全職員でイノベーションを楽しむ

## 施設年度目標

- ① 選定調査書満点評価施設となる
- ② 各役職の役割を明確化する
- ③ 派遣職員に頼らず離職率の低減を図る
- ④ 地域向け教室の開催
- ⑤ ユニットリーダー研修生受け入れに向けて勉強会を開催
- ⑥ 介護ロボットなどのIT・IOT機器導入による業務負担の軽減

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

### 【特養】

#### 相談課

安定した稼働率の確保では、一時的に入院者が増加したり、お看取り対応の実施により、お客様の入れ替わりが増加し、目標稼働率が達成できない月がありました。年度途中で相談員の退職がありました。今後は待機しているお客様をお待たせしないシステムづくりを行い、判定会議の開催方法について変更致しました。入退所のお客様の入れ替わり人数増加している状況の為、スムーズに対応できるように致します。今年度は入居されているお客様のご家族からお看取りを希望される方が増加し、4割以上のご家族様がターミナルケアを希望されております。お看取り希望のお客様やご家族様が安心できるように、相談員として説明責任を果たしていけるように支援致します。介護支援専門員の業務としては個別プランの作成を実施しております。各ユニットの毎週実施している、定期カンファレンスについては予定通り開催することができました。看取りカンファレンスについても対象者の方のカンファレンスを実施致しましたが、急な体調の変化に追いつかず開催時期が遅れてしまうケースがありました。ターミナルケア委員会と連携し新年度は、状態に応じて随時開催できるよう努力致します。

#### 介護課

昨年度よりユニットリーダー実地研修施設として実習生の受け入れを行っており、様々な施設の研修生にユニットケアの理論と個別ケアの実践方法を提供しています。受け入れを行っていく中で自施設の良い点・悪い点が一層明確になりました。良かった点として多く挙げられていた、お客様のペースやご希望に添った時間の流れを感じていただく支援は今後も継続し、課題となっている食事提供の際の個別配膳を勉強会を通じて確立する事で、今後更に個別ケアの深化を目指します。また、翔裕園の目には地域の方や近隣の保育園児を多くお招きし、好評を頂くことが出来ました。今後も地域の方たちと積極的に交流を図っていきます。職員の腰痛予防に力を入れ、リフト等福祉機器を積極的に推進し、リフト3台・スライディングボード5枚・スライディングシート2枚を導入しました。まだまだ使いこなせていない職員も見受けられる為、すべての職員が適切に使用する事が出来、職員入居者様双方にとって負担が少ない介護を目指していきます。

#### 栄養課

今年度は低栄養リスクが中リスクから低リスクへ変更された方が増加しました。入居者一人ひとりに合った食事量の検討や食の細い方へのフォローの方法を各係と検討し、適切な栄養量が確保できたことが若干ではありますが反映されたものと考えます。また、看取りを希望される入居者が増加傾向にあります。誤嚥性肺炎などの理由もあり、最期まで口から食べることが叶う入居者はとても少ない状況ではありますが、看取り期の口腔ケア、保湿の問題などの課題も多く残されているため、より穏やかに最期を迎えられるよう、栄養士としてできることを引き続き提案していきたいと思っております。

#### 医務課

服薬管理について服薬セットミス防止の為3回確認を行い服薬セットミス防止につながっているが、服薬介助時、落薬や服薬忘れが目立つため、今後服薬方法についての勉強会を開催し再発防止に努めます。また、感染症予防については今後も勉強会を開催し蔓延防止に努めます。

### 【全体総括】

年間を通して、総稼働率としては、前年度の96.9%を上回り、97.1%となりました。しかしながら、目標数字には0.9%達成することができず、入院者に対する今後の見通しのアプローチや退去後のスムーズな新規入居に課題の残る一年となりました。また、肺炎や尿路感染なども発生したため、ユニット内の室温調整や清潔保持など見直す点もありました。良い点としては、事故対策委員会で転倒予防を考え、転倒骨折による入院は1件と前年度に比べ大幅に削減することができました。今年度は、各ユニットで日々の日常生活の充実に力を入れ、ユニットごとに考え、ご入居者に楽しんでいただけるよう、習字やフラワーアレンジメントなど行い、職員ともども楽しみながら日々の生活を過ごしていただけたことが出来ました。課題としては、介護職員の定着が安定せず、職員の入れ替わりも多くなってしまいました。下期から、新人研修の中身を変え、入職時オリエンテーションの強化、入職後のフォローに力を入れ、離職率も減ってきているため、昨年までの反省点を改善し、ご入居者、ご家族が安心して生活いただけるよう、職員が安定し成長できる環境を整えていきます。

### 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H29 実績	95.7	95.6	93.8	95.6	97.5	97.8	96.0	97.3	98.3	97.8	98.4	96.4	96.9
	H30 目標	98.5	97.5	97.5	98.0	98.5	98.5	98.5	98.5	97.5	97.2	97.2	98.0	98.0
	H30 実績	98.7	98.4	97.6	97.6	97.0	95.6	96.0	96.1	95.1	97.5	97.6	98.0	97.1

# 平成30年度 かしわ翔裕園 事業報告

<b>施設基本方針</b>	
5事業を運営する複合施設として、地域の社会資源や他職種が連携し、在宅生活高齢者向けの新たな介護モデルを創設します。	
<b>施設年度目標</b>	
①目標稼働率の達成 各事業ごとの目標設定をした稼働率・利用回数を達成する。 ②黒字化 介護報酬の増加、支出削減を図り、事業全体での黒字化を実現する ③連携強化 事業所間での連携と地域社会資源を有効活用することで、ご利用者の生活を総合的に支援する。	
<b>重点項目に対する実績報告(各事業ごと)</b>	
<b>【サービス付き高齢者向け住宅】</b> ①日々の健康管理と医療との連携により体調不良者や入院者も昨年度より減少、年度を通して退去者が4名というほとんど入れ替わりが発生しない安定した稼働であった。実質的な待機者がおらず、退去者が発生してから新規入居までにタイムラグがあり、課題を残している。 ②住宅内での日々の活動において、ご入居者が健康で楽しんで過ごしていただけるようにと体操やレクリエーションのプログラムを実践し、住宅での過ごし方の幅を広げることが出来ている。 ③事業間での連携により総合的な支援を行うことが出来ているが、一部の入居者から介護保険外でのサービスの要望があり外出支援や大掃除など自費サービスの導入を進めている。	
<b>【住宅型有料老人ホーム】</b> ①年間を通して常時入院者が発生している状況で、看取り状態での退院受け入れなど医療的な管理が必要であった。入院からの退居、ご逝去される方と比較的入居者の入れ替わりがあり、稼働に影響を及ぼしていた。 ②12月に夫婦部屋を増床し定員を20名から24名へ変更、2室4名の新規受け入れを行った。定員数が増加すると共に有料としても増収することが出来、来期の黒字化へ向けて基盤を整えることが出来た。	
<b>【通所】</b> ①前年比稼働+15%と向上することが出来たが、月によって休止者や体調不良で休まれる方が多く、新規獲得でのフォローが思うように進まず稼働を下げってしまう月があった。 ②サービス提供体制加算Ⅰ・栄養スクーリング加算・改善加算の算定を開始したことで報酬は微増しているが、職員の入れ替わりもあり体制加算の算定要件がぎりぎりのラインとなっている為人員の確保が課題である。	
<b>【訪問介護】</b> ①有料老人ホームが増床することにより、年度末で訪問回数が飛躍的に増加している。居宅と連携しケアカンファレンスを行い、定期的なアセスメント実施している。 ②ご利用者の増加とスタッフの入れ替わりにより、介護指導や情報の伝達、ケアの統一などに課題があり、サ責を中心として着手している。 ③重介護対応、看取り対応など、現在お住まいの方々がADLが低下しても訪問のケアで施設生活を続けることが可能となるようにヘルパー一人ひとりがレベルアップし、対応できるようにしていくことが必要となっている。	
<b>【居宅】</b> ①入居者のケアプランにおいては短期でアセスメントを行い、訪問介護と連携を図り状態の変化に合わせたケアプランを作ることが出来ている。 ②必要な社会資源を活用することで介護保険以外でも個別のニーズに応えることが出来る様に体制を整えている。	
<b>【全体総括】</b> 施設全体の稼働について、入居においては退居から入居までのタイムラグによる稼働低下、通所においては休止者、体調不良者が発生することで目標稼働未達の月が発生してしまったものの、入居、通所においてもある程度上限の稼働に達してきており、登録者の管理と新規獲得のスピード感が重要な要因であった。職員については、ケアの増加と上期において退職者が発生、直接の応募が出来ない状況で派遣職員が増加、ヘルパーへの指導時間と人件費・時間外労働も増加してしまっていた。訪問介護のサービス提供回数は概ね予定数を確保できており順当にサービスに入れている状況は通年であった。12月より夫婦部屋を開設し家賃報酬や介護報酬が増収しており、施設全体で入居者49名上限での受け入れを行っている。30年度は、増床や料金変更、人員の補充など適正運営を行う上での基盤を形成を行ったので、来期しっかりと結果が残せるよう管理を行っていく。	

年間数値目標と実績(利用率)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	H29 実績	94.4	97.3	95.5	97.9	90.3	93.7	94.3	95.3	86.2	92.0	100.0	100.0	94.7
	H30 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	H30 実績	96.0	96.9	96.8	93.4	92.1	91.6	92.6	92.3	95.7	93.3	96.8	96.0	94.5
有料	H29 実績	93.0	95.0	94.2	90.8	95.0	95.0	90.0	90.7	90.0	90.0	97.0	97.0	93.1
	H30 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	H30 実績	93.0	97.4	95.0	97.5	85.0	86.5	85.0	97.5	100.0	89.8	91.5	82.7	91.7
通所	H29 実績	62.5	62.5	65.5	61.0	69.0	62.5	65.0	78.5	82.5	78.0	81.0	83.0	70.9
	H30 目標	75.0	80.0	80.0	80.0	85.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	85.8
	H30 実績	83.2	91.3	81.5	81.9	84.3	87.4	90.4	90.8	80.6	89.0	88.3	83.5	86.0
訪問介護 (件数)	H29 実績	2738.0	2985.0	2766.0	2777.0	2640.0	2787.0	3016.0	2913.0	2696.0	2969.0	2933.0	3428.0	2887.3
	H30 目標	2580.0	2666.0	2580.0	2666.0	2666.0	2580.0	2666.0	2580.0	2666.0	2666.0	2408.0	2666.0	2615.8
	H30 実績	3173.0	3232.0	3069.0	3173.0	3033.0	2911.0	2877.0	3123.0	3262.0	3259.0	3102.0	3529.0	3145.3
居宅(件数)	H29 実績	49.0	50.0	47.0	48.0	49.0	51.0	49.0	49.0	48.0	48.0	50.0	51.0	49.1
	H30 目標	43.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	44.0	43.9
	H30 実績	50.0	44.0	33.0	33.0	33.0	34.0	31.0	34.0	38.0	35.0	38.0	40.0	36.9

# 平成30年度 ふなばし翔裕園 事業報告

## 施設基本方針

ジャンプ

収益改善を目指し、後ろを振り返らず収支の自立をしてまいります。職員一人ひとりが問題意識を持ち、問題を共有し臆病にならず、前を見て主体的に実行に移せる、人材育成を目指します。

## 施設年度目標

1. 人財確保・育成の確立
2. 安定した入居稼働率と訪問介護単体での黒字化
3. IOT・ICTの取り入れによる業務軽減
4. 社会資源として地域貢献の実施

## 重点項目に対する実績報告(各事業ごと)

【特養】 年間平均稼働率 95.8% (目標98% 対目標比 -2.2% 対前年比 +0.2%)

・目標稼働率達成できなかった。

要因 ①9月後半～10月において感冒症状から肺炎での長期入院者が発生した。

②11月～2月は癌・パーキンソン病などの持病の悪化による長期入院者が5名となり稼働が低迷となった。

- ・近隣特養新設等による入居待機者減少に対し、在宅部門と協力して営業を行い、短期入居やつかだケアセンターの利用者の評判から入居に繋げることができた。引き続きふなばしエリアとして在宅部門と入居部門の連携を強化していく。
- ・長期入居の入院者の居室を速やかに短期入居にて空床利用する意識を根付かせることができ、施設総稼働率98%の目標達成を目指したが96.4%にとどまり未達となった。

【短期入所】 年間平均稼働率 100.9% (目標100%以上 対目標比 +0.9% 対前年比 +3.7%)

・目標稼働率達成となった。

要因 ①年間新規登録者数53件、目標月3件に対し平均4.5人と目標達成となった。

②上期はロング利用者の急なキャンセル等により稼働率が低迷、下期は特養空床を最大限活用し稼働が向上した。

- ・毎月初の訪問営業や反響が高いFAX営業を訪問介護と連携した結果、口コミ等にて知名度も定着し、リピーターや新規居宅からの依頼に繋がり、また問い合わせへ迅速に対応する事で信頼関係の構築へと繋がり稼働率向上となった。
- ・毎日の体操と日替わりレクの他、季節感のあるおやつレクの強化や、お誕生月のメッセージ付き写真の提供と、広報誌や月間レク表にてご家族や居宅ケアマネに利用中のご様子を伝えることで、お客様の満足度向上やリピーターに繋がった。

【訪問介護】 年間平均訪問回数 332.3回 (目標360回 対目標比 -27.7回 対前年比 118.8回)

・目標稼働率達成できなかった。

要因 ①年間新規登録者数37件(3.1件/月)で新規獲得目標達成も、入院や逝去等のキャンセルが続き稼働は低迷した。

②上期ヘルパーの産休や体調不良等の長期療養が重なりサービス調整に難航したが、下期は職員を補充することができ10月・11月は400件以上となり、また12月・1月も目標件数を達成することができた。

- ・営業エリア、サービス距離範囲等を拡大し、訪問営業以外に定期的にFAX営業(300件～400件/月)を行った結果、新規居宅からの依頼が増えたが、依頼が同時刻帯によりヘルパーの時間調整が難しくサービスに結び付かないこともあった。
- ・自費サービスのパンフレットを見直し居宅ケアマネ等に広報活動した結果、受診付き添い等の依頼の増加に繋がった。
- ・ヘルパーの研修や意見交換の場を上半期に実施したが、年間目標としての実施は未達となった。今後は特養併設の強みをいかして登録ヘルパーと職員が定期的に顔を合わせ、研修を実施すると共に個々のスキル向上を目指す。

## 【全体総括】

- ・年間稼働率目標に対し短期入居は達成したが、特養、訪問介護は未達成となった。その中で、今年度は特養入院者や外泊者の空床を最大限に活用し、特養と短期での総稼働率の目標を目指し安定に努めた。訪問においては、訪問、FAX営業の件数や営業範囲を拡大した結果、新規居宅からの依頼が増え、下期においては365.5件の目標達成となった。しかしながら、上期は職員産休等の人員不足等にてサービス調整が難しく、サービス依頼の取りこぼしが出てしまったことが要因としてあげられる。今後は登録ヘルパーの獲得を目指し目標訪問件数達成を目指す。
- ・職員確保については短時間パートや65歳以上のシニア、外国籍職員を積極的に採用し、適正なシフト作りの取組みを実施した。また無資格、未経験者についても、年間通して目標を定め、個別指導を実施、パートから契約、正職員への雇用形態の見直しを行い職員のやりがいやスキルアップに繋げることができた。
- ・前年度1月より、取得した日常生活継続支援加算、夜勤職員体制加算の継続、さらには、4月より食費、居住費の改定を行い、黒字化を達成した。
- ・地域貢献として、市内中学生の職場体験の受け入れや、地域住民、ボランティアの方々に施設行事の納涼祭、敬老会、秋祭りに参加していただいた。グループ45周年、元気村25周年イベント行事として翔裕園の日を地域に広報し、その中で捜索アプリ「みまもりあい」の導入や紹介を行い地域住民と施設での協力体制の強化に繋がった。
- ・営業ツールとして、施設全体で第1四半期に「施設見学会」を実施、居宅介護支援事業のケアマネや老健などの相談員26名が参加し訪問・短期入居・特養の紹介や信頼関係の構築を目指し、その後訪問や短期入居の新規獲得につながった。
- ・感染症予防して、委員会を中心に本年度より電解次亜水を導入し、加湿や消毒を実施した結果、インフルエンザ、ノロウイルス発症ゼロに繋がった。また内部研修を行い、必要備品の整備を行うことで職員の意識統一に結び付いた。
- ・職員の資格取得を目指し、実務者研修受講や、アセッサーの取得を積極的に行い、介護福祉士の5名の合格者に結び付き個々のスキルの向上とケアの統一を図る事ができた。次年度も職員の資格取得を目指し、施設全体での研修充実を図る。

## 年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	H29 実績	91.7	93.2	94.3	92.9	93.0	97.5	98.4	98.0	98.9	95.2	95.9	97.6	95.6
	H30 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
	H30 実績	94.4	97.5	96.3	96.6	98.2	97.0	93.4	94.0	94.8	95.0	95.8	97.1	95.8
短期	H29 実績	87.3	96.1	102.0	99.7	120.7	100.7	93.9	93.3	92.9	87.7	93.2	99.0	97.2
	H30 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	H30 実績	99.0	91.0	96.7	92.3	90.0	98.0	98.7	110.0	116.8	107.7	112.1	100.0	101.0
訪問介護	H29 実績	206	180	222	162	158	202	203	207	232	236	246	309	213.6
	H30 目標	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360.0
	H30 実績	292	301	293	286	300	330	420	410	364	361	308	330	332.9